

2 公用車駐車場内のクロガネモチ樹勢診断調査結果

調査内容：概況調査、精密診断調査

概況調査：樹形、樹勢の状況、根元・幹・大枝・枝葉の状況を目視で調査し、地上部の衰退度を判定する。

精密診断調査：機器により、樹木内部の空洞や腐っている部分を診断し、幹の健全度を判定する。

調査結果：概況調査による、地上部の衰退度は、上枝の先端の枯れや樹皮の傷が見られることから、5段階判定の上から2番目の「やや不良」の判定であった。また、精密診断調査では、幹内部の健全度が9割以上であった。以上により、移植は可能であると診断された。

今後の方針(案)：平成27年2月から3月にかけて「根回し」と「土壌改良」を行い、平成28年3月の移植に向けた準備を整える。移植にあたっては、根回し後の根の発育の状況により、木の切断位置（高さ）を判断することとなるが、今回の調査結果を考慮すると、地上5m以上の位置で切断することになると推測される。